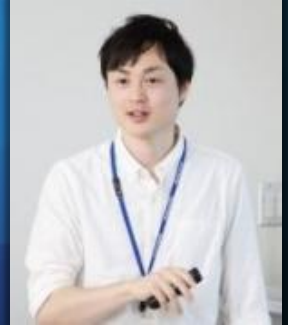


久留米大学 バイオ統計センター 公開セミナー

対面形式
&
WEB(LIVE)配信

佐藤 俊太郎 長崎大学病院
臨床研究センター一助教



対照群がない研究デザインで効果を推定する (時系列分断デザイン・自己対照研究デザイン)

ある処置（介入・曝露）がアウトカムに影響するのかが評価するためには、関心のある処置だけではなく対照の情報が必要である。最も良い研究デザインはランダム化比較試験であり、観察研究であっても対照群の情報があれば、適切な解析をおこなうことで影響の評価は可能である。しかし、対照群の情報がない状況もしばしばある。例えば、ある疾病の罹患数がCOVID-19で変動したのか検討する場合や、有害事象報告のみで構成されるデータベースで新規薬剤の人体への影響を評価する場合などである。これらの状況で使える研究デザインとして、集団単位で評価する時系列分断デザイン（Interrupted time series design）と個人単位で評価する自己対照研究デザイン（Self-controlled study design）がある。本セミナーでは、演者の研究を交えながら上記デザインの特徴や解析方法を解説する。

2021年10月14日(木) 18:00 – 19:30

久留米大学バイオ統計センターコンピュータ室 (医学部 B棟7階)

申込方法

受付は終了しました。

お問い合わせ

久留米大学バイオ統計センター公開セミナー係
biostat_seminar@med.kurume-u.ac.jp